

1. 事業概要

本地区は、塩谷郡塩谷町の西部に位置し、一級河川土佐川沿岸に広がる水田地帯で、標高は260m~320m、地形は南北に1/120の勾配を有し、水稲を中心とした地域である。 農地は不整形で20a前後の小区画水田が大部分を占め、道路も狭小で屈曲していたことから、効率的・安定的な営農が困難な状況となっており、農業生産基盤の整備が重要な課題となっていた。

このため、農地の大区画化と併せて担い手への農地集積を推進し、排水条件等の改良による 転作作物の導入など、農地の高度利用と生産性の高い農業構造の確立を目的として圃場整備事 業を実施した。

事業名	県営圃場整備事業			
事業主体	栃木県			
事業箇所	塩谷町			
受益面積	135ha			
受益者数	185人			
整備内容	整地工135ha 用水路工22.9km			
	排水路工14.3km 道路工18.6km			
	暗渠排水工4ha			
総事業費	15.1億円			
事業期間	平成8年度~平成17年度			











2. 事業費等の変化

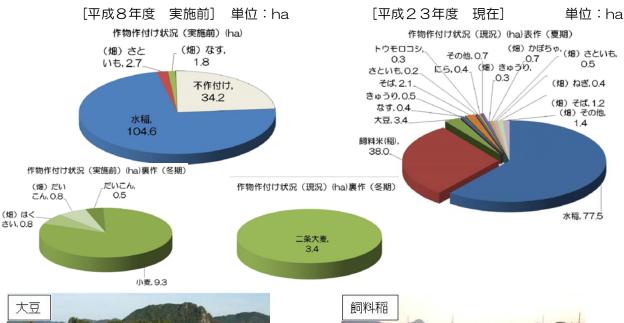
1	項目	事業採択時	事業完成時	増減	
	受益面積	168ha	135ha	∆33ha	
	総事業費	16.8億円	15.1億円	△1.7億円	
	工期	H8~H12	H8~H17		

受益面積については、本事業以前に既に個人で大区画化しており、新たな整備に対する意欲が低いこと等により、33haの減となった。また、事業費についても受益面積の減に伴い1.7億円の減となった。

②農作物の作付け状況

事業実施前はほぼ水稲単作の状況であったが、圃場整備事業により乾田化が図られ、転作作物として大豆など約8haが作付けされている。

耕地利用率 [実施前] 84% [現在] 102%





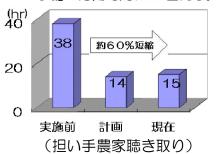


3. 事業の整備効果等

①農作業に係る労働時間の短縮

農地の大区画化や農道の整備により大型農業機械 の導入が促進され、水稲の労働時間が約60%短縮 し、営農効率が向上している。

水稲の労働時間(10a当たり)



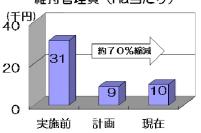
②維持管理の軽減

用排水、道路の改良整備により、施設に係る維持管理費が約70%節減されている。

維持管理費:31千円/年(実施前)

10千円/年(現在)

維持管理費(ha当たり)

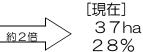


(船生土地改良区聴き取り)

③事業を契機とした担い手への農地集積の状況

農地の大区画化や大型機械の導入が可能となり、効率的な農業経営が可能となったことから、担い手農家への農地集積も進み、経営基盤の強化が図られている。

地区内経営面積(ha) 地区内農地集積率(%) [整備前] 23ha 15%



4. 事業により整備された施設の管理状況

用排水施設は、船生土地改良区が管理者であり、組合員が 年1回の堀ざらいを実施するなど適切な管理が行われている。 農道は、管理者である塩谷町が適切な管理を行い、日常の草 刈り等は改良区が行っている。



5. 事業実施による環境の変化

本事業により、狭く屈曲していた農道が整備されたことで 勤・通学など地域の生活道路 としても利用されるなど、利 性が向上している。



6. 社会経済情勢の変化

特になし

7. 今後の課題等

①農業を支える生産基盤の環境は整ったことから、今後、より一層の農地集積、転作作物の導入などの高度利用、さらには農業用施設の維持管理体制の整備等、地域で一体となった推進が必要である。

[参考:アンケート調査結果について]

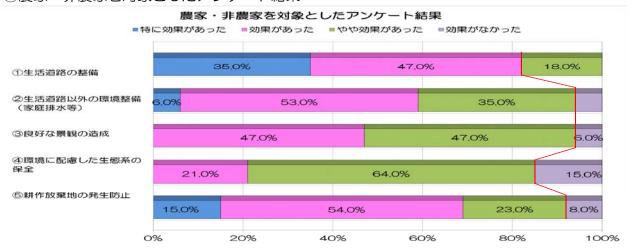
本地区内の農家、非農家を対象に事業の実施に対する効果の発現状況について調査を行った。(配布戸数 20戸 回答18戸 回答率90% H23,7,25実施)

[アンケート結果から考察する地域住民の事業に対する評価]

事業の実施により、農作業や水管理の利便性、農業用水の安定供給など営農面で、高い評価を得ている。また、良好な景観や道路整備など生活環境面でも高評価を得ている。 ①農家を対象としたアンケート結果

農家を対象としたアンケート結果 ■特に効果があった ■効果があった ■やや効果があった ■効果がなかった ①圃場条件の改善による農 38.0% 25.0% 37.0% 作物収穫量の増加 ②水田の乾田化による転作 14.0% 29.0% 28.0% 29.0% 作物の規模拡大や新規導入 44.0% 11.0% 11.0% 34.0% ③農作業や水管理の利便性 ④農業用水の安定供給 22.0% 33.0% 22.0% 23.0% ⑤洪水等による農作物被害 の軽減 25.0% 25.0% 25.0% 25.0% ⑥農業後継者の確保育成 290% 430% 28.0% ⑦経営規模拡大による担い 手育成 25.0% 63.0% 12.0% 8直売所や農産加工等の振 13.0% 13.0% 49.0% 0% 20% 60% 80% 100% 40%

②農家・非農家を対象としたアンケート結果



③自由意見

【農家】

- ・圃場への乗り入れがスムーズであるため、圃場が大きく、なおかつ農作業が楽である。 すべての作業が今までより楽である。
- ・道路は整備されましたが、道路脇の草はどちらの方が刈ることになるのでしょうか?

【非農家】

・なし

栃木県 農政部 農地整備課

TEL: 028-623-2364 FAX: 028-623-2378

http://www.pref.tochigi.lg.jp/g07/index.html

E-mail: nochi-seibi@pref.tochigi.lg.jp

